

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 70.0%, 県73.7%)

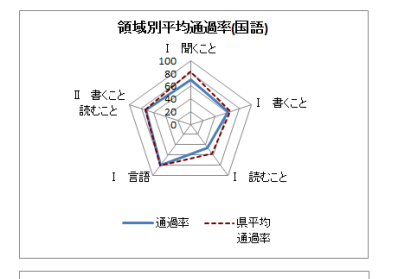
対県比

95%

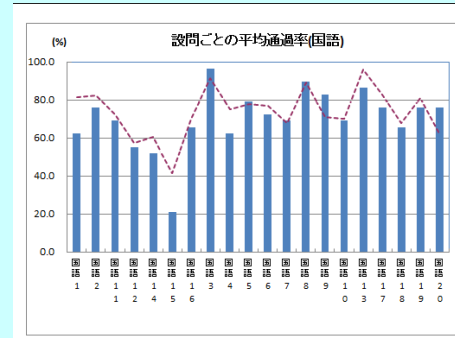
全国学力・学習状況調査 本年度正答率

本年度の結果について

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



A問題

本校 83.2 %
全国 79.4 %
県 80.1 %

B問題

本校 53.4 %
全国 51.0 %
県 50.9 %

◎全体的な傾向・・・「基礎・基本」定着状況調査においては、「読むこと」の課題が大きい。活用問題は無答率が低く、「書くこと」意欲は見られる。「全国学力・学習状況調査」でも、「読むこと」に課題がある。B問題での無答率が高い設問があり、「書くこと」への抵抗感がうかがえる。
◎昨年度の課題から・・・課題が十分克服されたとは言えない。引き続き取り組んでいく。

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比

105%

重点課題

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

・説明的文章において、文章の展開を確かめながら要旨を捉える問題に課題がある。
(四の3 通過率20, 7%)

【課題2】全国学力・学習状況調査

・文学的文章において、登場人物の心情を把握して言動の意味を考えたり、置かれている状況を想像する問題に課題がある。
(3の二 通過率52, 4% 県67, 8% 全国67, 2%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

- ・説明的文章の読解の手順とコツをつかませる具体的な指導をする。
(キーワード・キーセンテンス・文章の構成・段落相互の関係など)
- ・身近な説明的文章である新聞を効果的に活用し、読み慣れさせる。

【課題2】全国学力・学習状況調査

- ・文学的文章の心情を把握するため、人物相互の関係や場面の展開に留意すること、また情景描写から心情を読み取るための具体的な指導をする。
- ・ブックトークなど読書活動の推進を図る。

「基礎・基本」定着状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				2年生 期末テスト		2年生 検証問題	1年生 H26「基礎基本」
目標値				40%		50%	40%
実施後数値							

全国学力・学習状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 中間テスト		3年生 期末テスト			2年生 H26「全国学力・学習状況調査」
目標値		60%		70%			60%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 56.8%, 県71.9%)

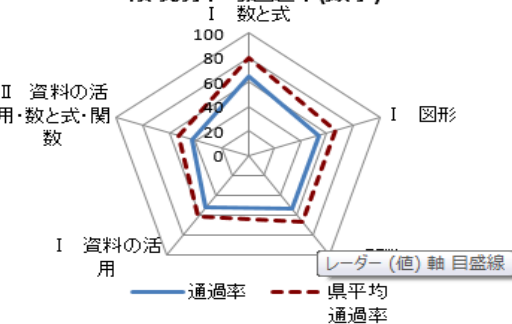
対県比 70.2%

全国学力・学習状況調査 本年度正答率

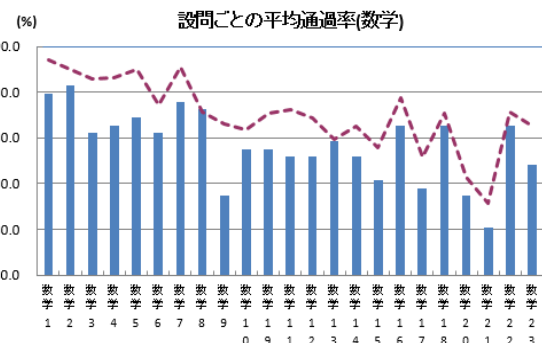
本年度の結果について

領域別平均通過率

領域別平均通過率(数学)



設問ごとの平均通過率



A問題

本校 68.5%
全国 67.4%
県 68.4%

B問題

本校 54.6%
全国 59.8%
県 60.5%

○ 全体的な傾向について
数学の結果において、タイプIは59.9% (昨年度72.4%), タイプIIは42.2% (昨年度65.0%) の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な力と、活用する力がともに昨年度より達成率が下がった。
○ 昨年度の課題への取組の成果
特に基本計算の通過率が20%近く下がっている。より具体的に既習内容を絞り続けることと意欲を持たせる取り組みが。数学苦手や数学嫌いな生徒への支援を丁寧に行い、授業規律の成立を仕組み個別指導も定期的に行う。

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比

%

重点課題

【課題1】大問3 中間1 (領域 数と式)

文章題から不等式をつくる問いで、4つの不等式が示され選択する。通過率が34.5%と低く「1000円より安い」の表し方を「 \leq 、 $<$ 」のどちらを用いるのかの判断と、同じくらいに不等号の「 $>$ 、 $<$ 」で「安い」という表現がどちらを用いるのか理解されていない。左辺と右辺の関係の大小関係で表すことへの指導が不十分だった。

【課題2】A大問3 中間1 (領域 数と式)

(大問3 中間2) のように一元一次方程式の分数式を解く(66.7%県58.5%全国59.5%)から機械的に方程式が解けても、移項の意味を知らずに解いている傾向がある。
(通過率 71.4%, 県 89.4%, 全国89.7%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】大問5 中間1 (領域 図形)

円柱の容器とそれにぴったり入る球の体積とを比べる問いで、求め方としては、式を用いて解く方法もあるが、2つの体積を視覚的に比べて求められるようにした。視覚的な判断をよりどころとする生活体験を活かす授業を多く取入れる。

【課題2】B大問5 中間1 (領域 資料の活用)

4本の棒を投げて表、裏の出た数に対して得点を競うスティックゲームの問いで、樹形図から答えを読み取る。確率は出方を図や樹形図で表すこの表し方をしっかり理解させたい。(通過率 61.9%, 県 79.1%, 全国79.7%)

「基礎・基本」定着状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		1年生 中間テスト	1年生 期末テスト			1年生 章末テスト	1・2年生 学年末テスト
目標値		70%	70%			70%	70%
実施後数値							

全国学力・学習状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 期末テスト			2年生 冬休み明けテスト	2年生 検証問題	
目標値		60%			60%	60%	
実施後数値							

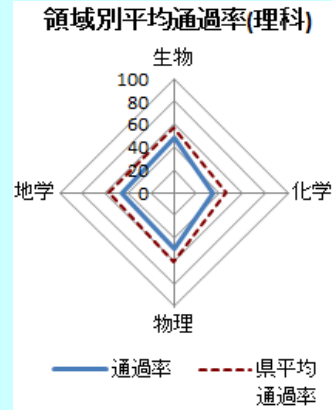
指導方法等の改善計画について [理科]

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 42.9%, 県 55.0%)

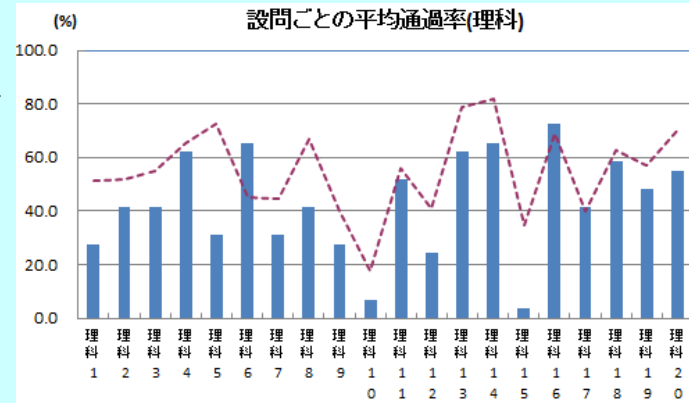
対県比 78 %

本年度の結果について

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



○全体的な傾向について
理科の結果において、タイプIは48.6% (昨年度40.7%), タイプIIは34.5% (昨年度26.7%) の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な力と、活用する力とともに昨年度より達成率が上がっているものの、50%にも満たしていない。

○昨年度の課題への取組の成果
昨年度は、地学と物理の分野で課題が見られた。そこで、既習内容を繰り返し学習した。その結果、特に地学の分野において、基礎的・基本的な内容における通過率が、昨年度21.3%から今年度64.4%へと上昇した。

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比 100 %

重点課題

【課題1】 大問6 中間3 (領域: 地学)

震源からの距離について、地震の記録より震源距離を推定する問題に課題がある。どの地点が震源から遠いかは答えているが、その理由が答えられていない生徒が44.8%。(通過率3.4%)

【課題2】 大問4 中間3 (領域: 化学)

溶解度について、溶解度曲線より溶質の再結晶について論述する問題に課題がある。無答の生徒が51.7%。(通過率6.9%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

論述の問題に課題がある。地震について調べたり、学習したりしたことをグループやペアで説明させる活動を取り入れ、事象について説明できる力を育てる。

【課題2】

簡単にでもいいので、課せられた単語を用いて文章を書く指導を行う。観察・実験において、得られた結果から考察を考える作業を個人だけでなく小グループでも行い、結果や資料と関連付けて考えられるようにする。発表の際に、グラフや表を説明する場面を積極的に設けて、グラフや表を活用する力を育てる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間テスト			2年生 H26「基礎・基本」	2年生 学年末テスト	1年生 H26「基礎・基本」
目標値		50.0%			60.0%	70.0%	60.0%
実施後数値							

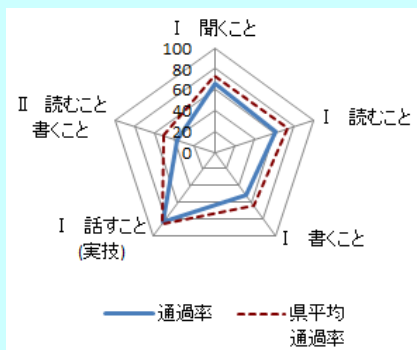
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間テスト			2年生 H26「基礎・基本」	2年生 学年末テスト	1年生 H26「基礎・基本」
目標値		50.0%			60.0%	70.0%	60.0%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 59.1%, 県 68.2%)

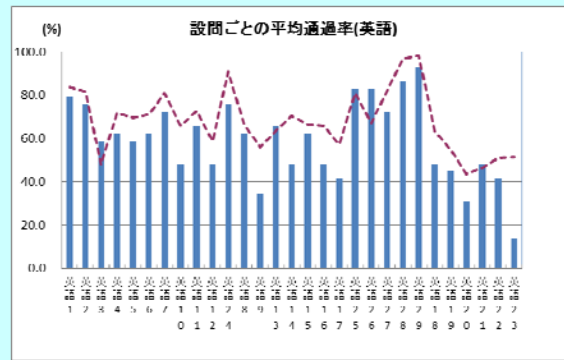
対県比 87%

本年度の結果について

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



- 全体的な傾向について
タイプⅠは64.6%, タイプⅡは37.9%の通過率となっている。タイプⅠの話すこと(実技)は83.4%で日頃の成果が表れているが、タイプⅡの読むこと書くことは37%で、特に書くことに課題がある。
- 昨年度の課題への取組の成果
昨年度は語と語のつながりなどに注意して英文を書くことに課題が見られた。

重点課題

【課題1】大問12中間3

まとまりのある一貫した英語の文章を書く問題に課題がある。(通過率13.8%) 無解答の生徒が31%もいた。

【課題2】大問11中間3

根拠をもって考えを伝える英文を書く問題に課題がある。(通過率31%) 問いの意味、答え方、答えの理由の3つを理解していないと正答にならないため正答率が低かった。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】

音読筆写により語順の理解を徹底させる。語順並べ替えの問題に取り組ませる。

【課題2】

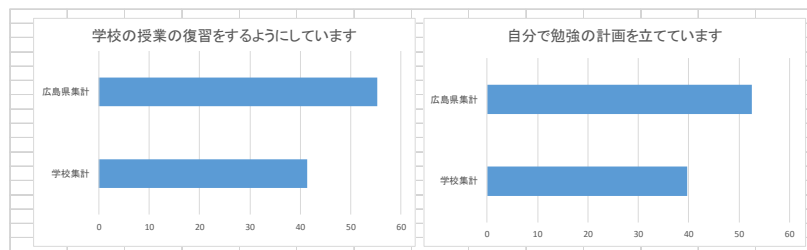
基礎的な単語の定着をドリル学習・小テストなどで図る。本文内容理解の英問英答の問題に取り組ませる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間テスト		2年生 期末テスト		2年生 H26基礎・基本	1・2年生 学年末テスト
目標値		30%		40%		50%	60%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間テスト		2年生 期末テスト		2年生 H26基礎・基本	1・2年生 学年末テスト
目標値		40%		50%		60%	70%
実施後数値							

問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）

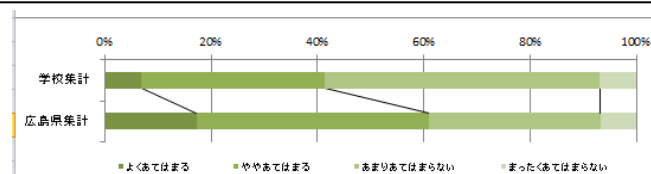
（１）生活・学習



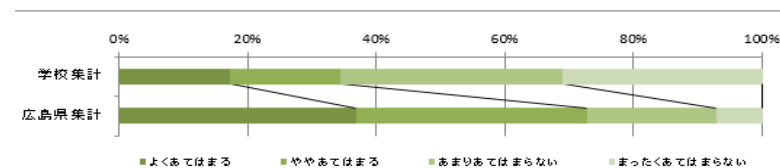
生徒の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
学習習慣を改善させなければならない。「学校の授業の復習をするようにしています」の肯定解答が県平均55.3%に対して本校41.4%。「自分で勉強の計画を立てています」の肯定的評価が県平均52.6%に対して本校37.9%。	宿題等の提出率を向上させるため、提出率が低い生徒に対して細かい指導と保護者連絡などを行う。試験前などには学習計画を立てさせ、目標を持って学習するよう指導する。	2年	復習 55% 計画 50%	生徒アンケート	2月		

（２）教科

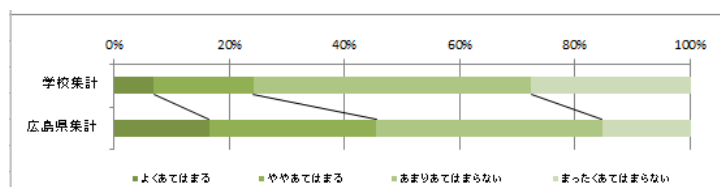
国語の授業では、伝えたいことの内容がうまく伝わるように話の組み立てを考えて話したり、話の内容を考えながら聞いたりしています。



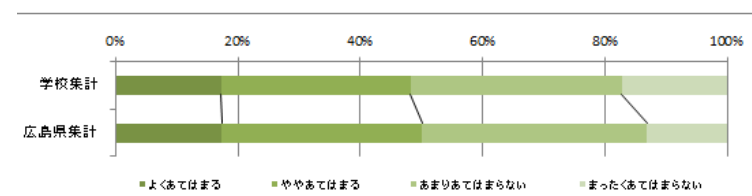
数学の授業はよく分かります。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。



	生徒の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	肯定的な回答の割合が、41.4%にとどまっており、意図する内容を効果的に伝える表現力・的確に内容を把握する力に課題がある。	○授業の中で、表現活動の場面をふやす。大まかな内容から細かな内容へと話の組み立てを工夫するなど、具体的な指導をする。	2年	60%	生徒アンケート調査を実施する。	2月		
数学	肯定的な回答の割合が36.6%であり、数学の苦手意識をさらに強くしている。生活にそくした内容を多く取入れ、求め方の手順や手がかりをより明確に示しめす必要がある。	○授業規律の確立と、質問内容を精査し、毎時間での全員の授業参画に取組み、自己存在感を与える。 ○問題数や内容を一層絞って既習学習の充実と展開方法を工夫する。	2年	60%	生徒アンケート調査を実施する。	2月		
理科	肯定的な回答の割合は24.1%であり、自分の考えをまわりの人に説明させたり、発表させたりする指導が不十分である。	○自分の考えを既習事項の科学的根拠にもとづき整理しまとめ、理由づけをして説明させる。 ○具体的にどのようなキーワードを用いて表現することがゴールかを設定しておく。	2年	60.0%	生徒アンケート調査を実施する。	2月		
英語	肯定的な回答の割合が48.2%にとどまっており、リスニングではキーワードをメモすることやあるテーマについて自分の考えを発表させる活動が不十分である。	○リスニングをするときは、5W1Hに注意しキーワードをメモするように指導する。 ○3～5文で自分の考えを順序立てて述べるができるように指導する。	2年	60%	生徒アンケート調査を実施する。	2月		